

マヒワ（アトリ科） 全長12センチ

マヒワは群れで移動する習性から、よく目立つ黄色い小鳥です。我が家の近くの道路沿いに空き地があるが、暫く手入れをしていないので勝手に様々な雑草が生えてきた。

マヒワの群れ40～50羽が、空き地に生えるオオマツヨイグサに集まりグチュグチュと盛んに囀っている。道路を車が通る度に一斉に逃げ去ってしまうが、再び元の場所に戻って来た。他にも所々に茂っているのに、この場所がお気に入りのようだ。



体全体が黄色で頭が黒いのがオス。

よく見ると、花が終わった茎には果実がいっぱい付いているではないか。茎の上部にある果実は殻の先端部が少し開き始めていることから、中の種をほじくりやすいのでしょう。茎の下の方の果実は先端部が閉じたままです。

マヒワが帰った後に近づいて見ると、オオマツヨイグサの高さは1m50cm程。果実の殻を引き裂いて見ると、黒い小さな種がびっしりと詰まっていました。



2羽が夢中になって食べている。種の先端部が開いているので食べ易いのでしょう。



種の実を食べているが、直ぐに飲み込んでしまいました。

この種はマヒワにとって御馳走となっているのでしょう。食べつくすことが出来ない程茂っているが、お腹がいっぱいになったのか飛び去ってしまった。



後姿はカワラヒワの模様と似ています。



こちらはメス。